

# 砂防だより



朝のわき雲（富士宮市）

静岡県支部通常総会 .....	2
(一社)全国治水砂防協会通常総会 .....	3
土砂災害防止月間の取組 .....	4
• 土砂災害防止月間啓発活動の実施	
• 砂防フェスティバル2022を開催	
• 市町等における広報活動の取組	
• 路線バスのフロント広告を活用した土砂災害の啓発	
「土砂災害・全国防災訓練」を実施 .....	6
逢初川土石流の発生原因解明の中間報告書について .....	7
「三堂川」で災害関連緊急砂防事業が採択 .....	8
令和3年度砂防関係事業の代表的な完成箇所 .....	8
わかまち(浜松市) .....	9
歴史探訪 大井川水系初の砂防工事 .....	10
インフォメーション .....	10
募集・お知らせ .....	12

**特集**

## 第77回全国治水砂防協会 静岡県支部通常総会

### 土砂災害防止月間の取組

### 「土砂災害・全国防災訓練」を実施



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

# 静岡県支部通常総会を開催



須藤支部長の挨拶

5月17日(火)、全国治水砂防協会静岡県支部の令和4年度(第77回)通常総会を静岡市内で開催し、県内の市町長、各土木事務所長が出席されました。

開会にあたり、支部長の須藤富士宮市長から、約7割が山地である本県には1万8千箇所を超える土砂災害警戒区域があることに触れ、頻発する土砂災害から県民の生命・財産を守る土砂災害対策では、施設整備の推進とともに、ハザードマップの作成や防災訓練等のソフト対策が重要であり、砂防協会による啓発活動、会員相互の連携及び国や県との協調を訴えました。

続いて、来賓の知事代理として太田交通基盤部長、宮沢県議会議長、(一社)全国治水砂防協会の大野理事長より御祝辞をいただき、県内3つの直轄砂防事務所長の来賓紹介の後、議案の審議が行われ、令和3年度の事業報告と収支決算報告、会則の改正、令和4年度の事業計画と収支予算等が原案どおり承認されました。

コロナ禍の大変厳しい状況にもかかわらず、多数の会員の皆様にご出席をいただき、誠にありがとうございました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。



知事代理(太田交通基盤部長)の挨拶



宮沢県議会議長の挨拶



大野理事長の挨拶



総会の様子

# 土砂災害防止講演会を開催

総会終了後に、土砂災害対策講演会を開催し、国土交通省砂防部伊藤保全課長には「土砂災害への取り組み」、大野理事長には「土砂災害と砂防」と題し、近年の土砂災害の発生状況、砂防行政の取り組み、砂防事業のこれまでのあゆみ、深層崩壊の対応などについて講演していただきました。会員からは、土砂災害とまちづくりについて、御意見をいただくなど大変有意義な講演会となりました。



伊藤保全課長の講演



大野理事長の講演

## 全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月26日(木)、(一社)全国治水砂防協会の令和4年度(第86回)通常総会が砂防会館で開催されました。

多くの国会議員とともに、全国各地から多数の会員(市町長)が出席され、当支部からは、支部長の須藤富士宮市長をはじめ9名の会員に御出席いただきました。

森山会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、令和3年度の事業報告と収支決算報告、全国の砂防関係事業の拡充・促進を図る令和4年度の事業計画と収支予算等が原案どおり承認されました。

また、総会後には、国土交通省水管理・国土保全局三上砂防部長から「「いのち」と「くらし」を守る砂防」と題した特別講演が行われました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



森山会長の挨拶



加藤国土交通大臣政務官の挨拶



三上砂防部長の講演

### 本県の参加市町

富士宮市、伊豆市、森町、南伊豆町、川根本町、  
河津町、西伊豆町、函南町、三島市  
(計9市町) ※太字は本人参加



総会の様子

# 令和4年度「土砂災害防止月間」

6月1日(水)～30日(木)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線等により雨量が多く、地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行っております。

## 主な活動

- 土砂災害防止月間啓発活動の実施
- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の取組
- 路線バスのフロント広告を活用した啓発
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施
- みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2022～の開催 など

## 令和3年に発生した土砂災害件数

	土石流	地すべり	がけ崩れ	計	死者・行方不明者※
全国土砂災害発生件数	160件	73件	735件	972件	33名
静岡県土砂災害発生件数	3件	2件	32件	37件	27名

※災害関連死を除く



立看板(静岡県庁本館正面玄関)

## 1 土砂災害防止月間啓発活動の実施

6月2日(木)、JR静岡駅改札口前コンコースにて「土砂災害防止月間」啓発活動を実施しました。

県と国土交通省静岡河川事務所、静岡地方气象台、静岡市の職員12名が、通勤・通学等される皆様に「日頃の備え」と「早めの避難」を啓発しました。



啓発活動の様子

## 2 砂防フェスティバル2022を開催

6月18日(土)、土砂災害の発生状況や砂防関係事業のハード・ソフト対策の取り組みに関する情報を発信し、県民の皆様に土砂災害防止に対する理解と関心を深めていただくよう、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2022～」を開催しました。

このイベントは、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡地方气象台、静岡県、静岡市の共催により開催しているもので、県では土砂災害防止に関するパネルの展示や動画による啓発、3次元点群データの活用の紹介などを行い、クイズにも挑戦してもらいました。



静岡県ブースの様子



土砂災害のクイズに挑戦

# の取組

## 3 市町等における広報活動の取組

市町や土木事務所において、土砂災害防止の広報活動として、広報誌やホームページ等への掲載、庁舎の横断幕や懸垂幕等の掲示、公用車へのマグネットシートの貼付やポスターの掲示などに取り組んでいただきました。



懸垂幕掲示(牧之原市)



令和4年度 土砂災害防止月間ポスター

広報誌への掲載	南伊豆町、伊東市、裾野市、長泉町、函南町、御殿場市、富士市、静岡市、焼津市、藤枝市、菊川市、御前崎市、湖西市、砂防課（13市町）
インターネットを活用した広報	河津町、富士市、島田市、焼津市、袋井市、砂防課、下田土木事務所、沼津土木事務所（5市町）
横断幕、懸垂幕、立看板の掲示	西伊豆町、南伊豆町、河津町、伊東市、長泉町、函南町、伊豆の国市、伊豆市、富士宮市、静岡市、焼津市、牧之原市、川根本町、掛川市、菊川市、御前崎市、袋井市、磐田市、森町、浜松市、砂防課、熱海土木事務所、沼津土木事務所、袋井土木事務所（20市町）
ポスター掲示	各市町関係機関、県内セブンイレブン760店舗、砂防課、各土木事務所、各地域局、各農林事務所
路線バスのフロント広告	東海バス、伊豆箱根バス、富士急バス、静鉄バス、遠鉄バス

## 4 路線バスのフロント広告を活用した土砂災害の啓発

県内の路線バスを運行するバス会社5社と連携し、バスフロント部の広告を活用し、「日頃の備え」と「早めの避難」を県民の皆様にも周知しました。

この取組により、県内の都市部から山間部まで広域に、バス運行時間(特に明るい時間帯)の長時間にわたり、バス利用者やすれ違い車両、歩行者等の道路利用者にも幅広く啓発できる効果を期待しています。

なお、月間の初日である6月1日(水)に、静岡市内のバス営業所において、「土砂災害防止月間」キャンペーンバス出発式を開催しました。



出発式の状況



浜松駅バスターミナルの状況

# 「土砂災害・全国防災訓練」を実施

## ～避難の声掛け、安全の確認～

土砂災害による犠牲者をなくすため、6月5日(日)の全国統一日を中心に、「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。これは6月の「土砂災害防止月間」の取組の1つとして、土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識向上を図ることを目的に、土砂災害警戒区域等における住民参加による実践的な避難訓練を実施するものです。

本年は、昨年発生した甚大な土砂災害の教訓を生かし、より実効性のある訓練として「避難の声かけ、安全の確認」をキャッチフレーズに、地域内での声かけによる避難や安全を確認する訓練を重点的に行いました。

統一日には、22市町で地域住民や関係機関など約1,100人がモデル地区訓練(実動訓練)に参加し、避難指示に伴う住民や要配慮者等の避難訓練を行うとともに、ハザードマップで危険な区域や避難場所、安全な避難路を確認するなど、自助・共助による防災意識を高めました。また、訓練終了後に、県・市職員による土砂災害防止講習会を実施しました。

また、統一日以外にも4市でモデル地区訓練を行い、合計で約1,350人が参加しました。

### 訓練参加市町

#### ◆6月5日(日) (22市町)

下田市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、熱海市、伊東市、沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、長泉町、小山町、富士市、藤枝市、川根本町、袋井市、菊川市、御前崎市、森町

#### ◆6月5日(日)以外 (4市)

富士宮市、焼津市、磐田市、掛川市

### 訓練の状況



ハザードマップ作成  
(6月5日:河津町)



ハザードマップ作成  
(6月5日:西伊豆町)



避難経路の確認  
(6月5日:裾野市)



負傷者の輸送  
(6月5日:伊豆市)



住民への声かけ  
(6月5日:伊豆の国市)



避難経路の確認  
(6月5日:長泉町)



避難所の開設  
(6月5日:小山町)



講習会  
(5月29日:富士宮市)



危険箇所の確認  
(6月5日:藤枝市)



避難所の開設  
(6月5日:袋井市)



講習会  
(6月5日:御前崎市)



講習会  
(6月5日:森町)

# 逢初川土石流の発生原因解明の中間報告書について

7月3日の土石流発生後、県では土石流の発生メカニズム解明のための作業チームを立ち上げ、調査や解析等を行い、土木学会、地盤工学会、砂防学会の3学会からの推薦者で構成される「逢初川土石流の発生原因調査検証委員会(以下、委員会)」の指導・助言を受けて、「土石流の発生原因調査報告書(以下、報告書)」の取りまとめを進めています。

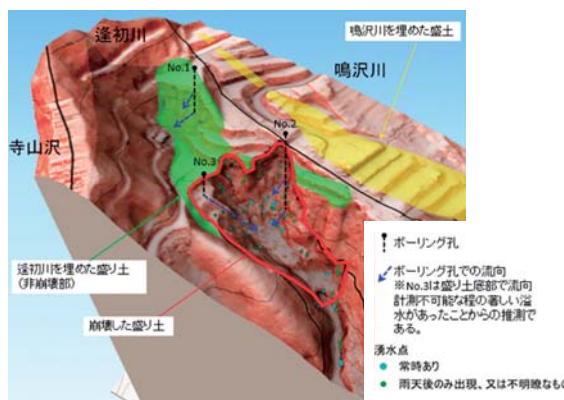
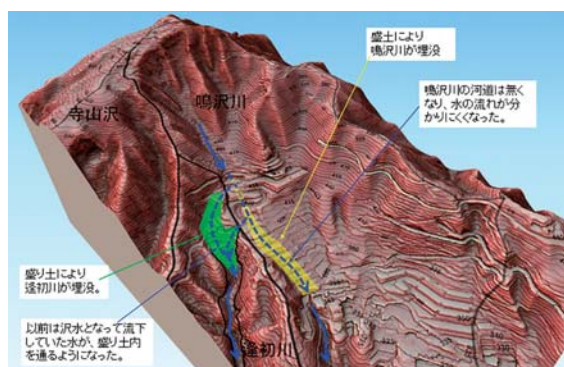
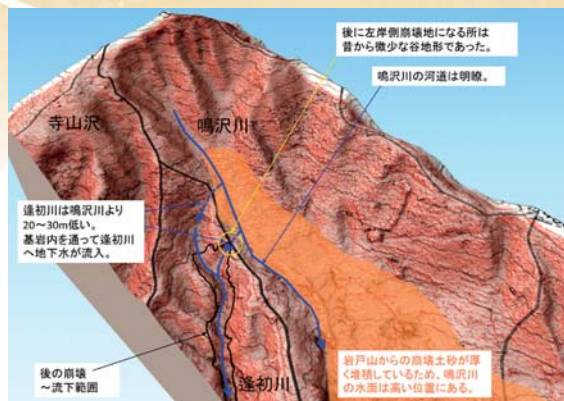
委員名	所属	派遣機関
沢田 和秀	岐阜大学工学部教授	(公社)土木学会中部支部
小高 猛司	名城大学理工学部教授	(公社)地盤工学会中部支部
今泉 文寿	静岡大学大学院農学領域教授	(公社)砂防学会東海支部

9月7日に委員会を立ち上げ、3月29日の第3回委員会では、以下の内容の中間報告書を公表しました。

## ＜中間報告書の主な内容＞

- ・逢初川の北に隣接する鳴沢川には、上流の岩戸山の崩壊土砂が厚く堆積し、水面も高く、逢初川は鳴沢川より20～30m程度標高が低い位置にある。
- ・地質調査の結果、盛り土底面付近には高透水である溪流堆積物層があることに加え、ボーリング孔を使用した地下水の流向調査では、標高が高い鳴沢川から低い逢初川方向に地下水の流れが確認され、崩壊面に見られる湧水点の高さと一致している。
- ・このことから、崩壊した盛り土には、①盛り土前の逢初川流域上部の溪床部等を流入するルート②鳴沢川流域から尾根の地中を通して流入する二つの地下水供給ルートがあることが推察される。

6月29日の第4回委員会では、数値解析による崩壊現象の再現を提示したところであり、第5回委員会において最終報告書(案)の検証を受け、公表してまいります。



## 土石流が発生した

みーどろーがわ

### 「三堂川(賀茂郡西伊豆町)」で災害関連緊急砂防事業が採択



被災状況

4月21～22日の豪雨により「三堂川(賀茂郡西伊豆町)」において、土石流が発生しました。早急に再度災害を防止するため、災害関連緊急砂防事業実施の手続きを進め、5月30日に採択されました。今後、測量設計及び用地補償を早急に進め、砂防堰堤の早期完成を目指します。



流域全景

溪流名	設置種別	計画諸元	採択額	保全対象
三堂川	砂防堰堤工	H=5.5m L=38.5m	150百万円	・人家 8戸 ・国道136号

令和3年度

# 砂防関係事業の代表的な完成箇所

## 砂防事業

おおさかざわ

### ●大坂沢砂防堰堤工 (掛川市大坂地先)



大坂沢では、砂防堰堤1基を整備し、人家105戸、老人福祉施設、浄水場、市道の保全を図りました。

みやのさわ

### ●宮ノ沢砂防堰堤工 (静岡市葵区大原地先)

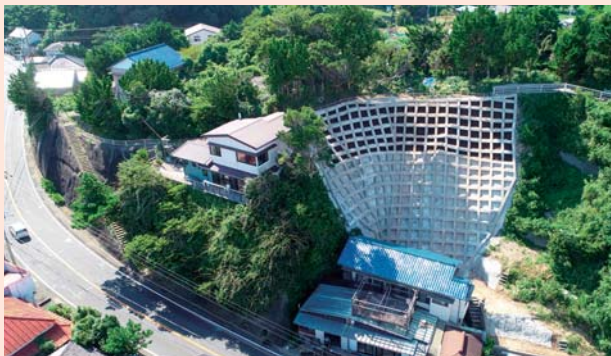


宮ノ沢では、砂防堰堤1基を整備し、人家3戸と市道の保全を図りました。

## 急傾斜地崩壊対策事業

ながた

### ●長田A 法面工 (下田市白浜 地内)



長田Aでは、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策工事として法面工を整備し、人家5戸と国道135号の保全を図りました。

とくらさんちようめ や と

### ●徳倉3丁目谷戸B 法面工 (三島市徳倉 地内)



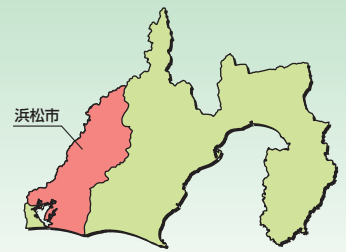
徳倉3丁目谷戸Bでは、急傾斜地崩壊対策工事として法面工を整備し、人家17戸と市道の保全を図りました。

※令和3年度に工事を実施し、完成した箇所

事業名	箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
砂防	冥加沢	熱海土木	熱海市泉	371	H23	砂防堰堤工 H=8.5m、L=65.5m
	安居山右支川	富士土木	富士宮市安居山	230	H25	砂防堰堤工 H=6.0m、L=32.5m
	北逆川下沢	静岡土木	静岡市駿河区丸子	235	H26	砂防堰堤工 H=11.0m、L=26.5m
	宮ノ沢	静岡土木	静岡市葵区大原	197	H28	砂防堰堤工 L=9.0m、L=46m
	大坂沢	袋井土木	掛川市大坂	252	H29	砂防堰堤工 L=6.0m、L=33.5m
急傾斜地崩壊対策	長田A	下田土木	下田市白浜	71	R2	法面工 A=281m <sup>2</sup>
	大瀬	下田土木	賀茂郡南伊豆町大瀬	69	R2	法面工 A=312m <sup>2</sup>
	池代中村	下田土木	賀茂郡松崎町池代	87	R2	法面工 A=1144m <sup>2</sup>
	竹原	沼津土木	伊豆市修善寺	282	H26	擁壁工 L=194m
	岩戸山	沼津土木	伊豆の国市南條	175	H29	擁壁工 L=134m
	江梨No.2	沼津土木	沼津市西浦江梨	146	H28	擁壁工 L=100m
	徳倉3丁目谷戸B	沼津土木	三島市徳倉	214	H28	擁壁工 L=45m、法面工 A=500m <sup>2</sup>
	西久保	静岡土木	静岡市清水区西久保	158	H29	擁壁工 L=78m、法面工 A=997m <sup>2</sup>
	長仙ヶ谷	静岡土木	静岡市葵区南沼上	86	H31	擁壁工 L=68.2m、法面工 A=932m <sup>2</sup>
	時ヶ谷ナガウタリ	島田土木	藤枝市時ヶ谷	514	H23	擁壁工 L=318m
	下落合	浜松土木	浜松市天竜区西藤平	177	H30	擁壁工 L=210m
	白須賀宿北A	浜松土木	湖西市白須賀	125	H28	擁壁工 L=221m
	大谷No.2	浜松土木	浜松市天竜区大谷	378	H24	擁壁工 L=258m

※地すべり対策事業は完成箇所無し





## 浜松市

浜松市は静岡県西部に位置し、北は赤石山系、東は天竜川、南は遠州灘、西は浜名湖と四方を異なる環境に囲まれています。若き日の徳川家康公が17年間を過ごした浜松城を擁し、「出世の街浜松」としてシティプロモーションを推進しています。2023年の大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせて、浜松城近くに大河ドラマ館を開館予定です。

さて、本市は静岡県の約2割を占める広大な市域1,558.06平方キロメートル(国土地理院公表数値)を有しており、その中に土砂災害警戒区域3,019箇所存在し、土砂災害の防止対策は

本市の重要な課題となっております。



「どうする家康」大河ドラマ館イメージパース



大滝地区 全景

このような中、令和2年7月の豪雨では、佐久間雨量観測所で月降水量の最大値を更新する1,285.5mmを観測し、天竜区佐久間町大滝地区では地すべりが発生し、茶畑や道路等に亀裂が入りましたが、静岡県などの迅速な技術支援のもと、警戒避難体制を構築しスムーズに地域住民の避難につなげることができました。現在、県では再度災害を防ぐため、国から災害関連緊急地すべり対策事業の採択を受け、地すべり対策工事を実施しています。

今後も住民が安全に暮らせるまちづくりに関係各位のなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 歴史探訪

### 大井川水系初の砂防工事

大井川水系では明治44年に旧下川根村(現島田市川根町)において砂防設備を要する土地として砂防指定地となり、同年から大井川水系家山川支川切山沢(家山地先)にて、同水系で初めての国庫補助砂防工事を実施しました。当時は、山腹工を主体とし、直接山腹崩壊を抑止する木工堰堤や石積堰堤工が主な工法でありました。

切山沢では国庫補助砂防工事として、明治44年から大正2年にかけて、木工堰堤を整備し、大正3年から大正6年、大正9年に石積堰堤及び石積水路等が整備されました。なお木工堰堤につきましては、現存の有無が確認できていません。石積堰堤や石積水路等については、一部、石材が流出しているところもありますが、現在も自然に調和し、溪床の安定に効果を発揮しており、当時の石工の技術力の高さを実感いたします。



木工堰堤



切山沢砂防工事完成写真(昭和14年撮影)



山腹工(石積)



石積水路工

## 「砂防関係事業担当者会議」の開催

4月11日(月)に、「砂防関係事業担当者会議」を、県庁で開催しました。この会議は、各土木事務所の砂防関係事業担当者が参加し、砂防関係事業の情報共有などを目的として毎年、年度初めに行っています。

今回の会議では、砂防課の担当者から最近の砂防関係事業における話題や注意事項について説明を行うとともに、各事務所からの質疑応答を行うなど活発な議論が行われました。



会議の様子

## 水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会を開催しました

5月18日(水)から6月2日(木)にかけて、県内4会場で県土木事務所と市町の担当職員を対象として「水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会」を開催しました。

気候変動の影響により、近年、豪雨災害が頻発化・激甚化しており、関係者が連携して水害対策や土砂災害対策に取り組む必要があります。

当会議では、県全体で警戒避難体制の充実と強化を図ることを目的として、以下の議題について先進的取組や課題等を共有しました。

- ・避難の実効性を高める取り組み
- ・避難指示の発令
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成



水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会(西部地区)

## 急傾斜地パトロールの実施 ～関係機関や砂防ボランティアとの協働～

急傾斜地崩壊危険区域において、市町、警察や消防等の関係機関及び砂防ボランティアと連携し、急傾斜地崩壊防止施設の異状の有無、斜面の状況確認及び排水路の機能等を点検する急傾斜地パトロールを実施しました。

昨年度からタブレットを活用した点検を行っており、点検結果の入力や報告書作成などの事務作業軽減が図られています。



パトロールの様子(富士市)

## 「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ会」を開催

6月6日(月)に、「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ会」を、県庁で開催しました。合同打合せ会は、県内の直轄砂防事務所である静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所と県砂防課が、本年度の事業計画や最新の取組み、連絡事項等を情報共有し、各機関の円滑な事業実施を目的に毎年開催しています。

今回の合同打合せ会では、各機関による土砂災害防止に関わる取組、県が取り組む航空レーザー測量による3次元点群データの活用などについて、情報の共有を図りました。



打合せの様子

## 令和4年度(第40回)土砂災害防止「全国の集い」 in和歌山が開催されました

6月1日(水)～2日(木)に、令和4年度(第40回)土砂災害防止「全国の集い」in和歌山が、紀南文化会館(和歌山県田辺市)で開催されました。

今回の「全国の集い」では、『強くしなやかで美しい国土づくりを支える砂防～大災害からの復興と新たな挑戦～』をテーマに、基調講演やパネルディスカッションが行われ、ポスタースピーチコンテストでは、本県の「基礎調査対象箇所の新規抽出に向けた3次元データの整備」について紹介しました。

また、「土砂災害防止功労者表彰式」では、個人の部で静岡大学名誉教授の土屋 智(つちや さとし)氏が表彰されました。

2日目の現地研修会では、「滝尻地区 門谷砂防堰堤」と「紀伊田辺地区民有林直轄治山事業」について、和歌山県や林野庁の職員から説明がありました。

また、連携行事として「第23回砂防ボランティア全国のつどい」が開催され、砂防ボランティア活動等功労者表彰として、本県から元砂防統括監の本橋 和志(もとにし かずし)氏が受賞されました。



ポスター展示の様子



土砂災害防止功労者表彰式の様子(土屋氏)



現地研修会の様子(紀伊田辺地区民有林直轄治山事業)

## 市町等砂防担当職員研修を開催 ～土砂災害警戒情報による「早期避難を目指して!」～

6月10日(金)、16日(木)に、市町等の砂防・防災担当職員を対象に、土砂災害に関する防災気象情報や「危険度分布」を確認できるウェブサイトなどの実践的な研修を、静岡地方気象台と共同で県庁東館のOA研修室で開催しました。

新型コロナ対策として、会場の定員を半分にし、3回に分けて開催いたしました。研修は、19市町と県の担当職員合わせて35人が出席し、「防災気象情報の利活用」(静岡地方気象台土砂災害気象官)及び県ホームページで公開している「土砂災害警戒情報補足情報システム」(県砂防課)について説明を行った後、パソコンを操作し避難指示の発令を想定した危険度判定などの演習を行いました。

梅雨シーズンに向け、土砂災害が発生しやすい時期になることから、参加者からは、「土砂災害や気象防災情報の基礎的な知識を確認することができてよかった」、「補足情報システムを利用したことがなかったが、今後の出水時対応で活用したい」など、多くの貴重な意見や感想が寄せられました。



静岡地方気象台土砂災害気象官の説明



「土砂災害警戒情報補足情報システム」の活用演習

# 【令和4年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。  
御活用いただきありがとうございました。



## 募集・お知らせコーナー

### 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

【募集対象】 小・中学生

【応募期間】 6月1日(水)～9月15日(木)

【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。

【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 砂防班

TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



## ジオフォーラム 2022 IN 静岡

【日 時】 令和4年10月28日(金) 10:00～16:30

【会 場】 しずぎんホール ユーフォニア

※全国治水砂防協会静岡支部が協賛しています。

参加  
無料



9月 1日(水) 防災の日

未定

東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(岐阜県)

11月 上旬 市町等砂防担当職員現場研修

11月15日(火) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)

11月15日(火) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館等)



【表紙写真】

朝のわき雲(撮影地:富士宮市)

写真提供:静岡県観光協会

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

## 編 集・後・記

4月より砂防協会事務員として任用されました小杉と申します。砂防事業について見識を深め、皆様のお役に立つ情報を発信できるよう邁進致します。土砂災害防止月間には様々な啓発活動の一環として、路線バス広告掲出を行いましたので目にされた方も多かったのではないのでしょうか。今後の啓発活動にも一層注力して参ります。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第208号 発行日: 令和4年7月15日

編集・発行: 全国治水砂防協会静岡支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内  
TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sbkk\_s@yahoo.co.jp